

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

	1月31日現在	(前月比)
総人口	25,402人	(9人減)
男	12,356人	(7人減)
女	13,046人	(2人減)
世帯数	7,034世帯	(2世帯減)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



働く若者

税理士事務所勤務 木村亨子さん(坊沢・20歳)

彼女は、昨年の三月仙台の経理学校を卒業と同時に現在の事務所に勤務、税理士の補助事務を行っている。

教学が主体で、正確さ、迅速さ、そして書類のきれいさが要求される仕事をテキパキとこなし、素直でがんばり屋の彼女に、上司の信任は厚い……。

余暇はもっぱら読書だが、仕事に余裕ができたなら習いものを始めたいという、二人姉妹の長女。

No.380

53・3・15

昭和五十三年

三月定例町議会

三月定例町議会において出川町長は、新年度の施政方針と、十二月以降の行政報告を発表しましたので掲載します。



衆知を結集し

均衡と調和の行政を

新年度
施政方針

公共事業を中心として大型予算を編成し、これを執行しながら民間の投資、需要を助長し、長期化した不況に終止符を打とうとしている注目の国会や県会の審議が行われていますが、本町においても積極的に投資的経費をふやし、立遅れている社会資本を充実させ、雇用の促進、商工業の営業活動などを高めてまいりたい。

また、水田総合対策事業を推進し、需要の変化に対応する営農形態を築いていきたい。

また、きめ細かな福祉を各分野に展開し、民生の安定を



健康で豊かなまちづくり

新年度の予算などを審議する昭和五十三年三月定例町議会は、二月八日招集され、午前十時から本会議を開いて会期を十八日までの十一日間と決めたあと、出川町長は向こう一年間の町政のすすめ方と、十二月定例会以降の主だった事項について述べました。

施政方針の中で町長は、積極的に投資経費をふやし、社会資本の充実を図るとともに、水田総合対策事業の推進、きめ細かな福祉の展開、産業の推進などについて述べるとともに、健康で豊かな郷土づくりのため、常に衆知を結集し、綿密周到な計画のもとに最善を尽したい、など次のように述べました。

図り、日常の環境を整備し、健康で豊かな郷土づくりをすすめてまいりたい。

町財政は自主財源に乏しく、かつその基盤は弱いものがありますが、国、県等の助成を積極的に導入し、かつ長期的展望に立って衆知を結集し、綿密、周到な計画のもとに、最善を尽しながら執行に当たりたいと考えておりますので、議員各位をはじめ、町民各位の一層のご指導、ご協力をお願い申しあげる次第であります。

保育行政については、小学校入学前の五歳児の保育料軽減措置を新年度から実施したい。また、私立保育園にも助成を続け、幼児保育の万全を期したい。

老人福祉については、その生きがいを高めるため、県の補助事業である「老人福祉の町」の指定を受け、五十三・五十四の二カ年継続事業とし、社会福祉協議会を主体に活動をするべく検討しております。

また、昨年の夏以降建築中の消防本部鷹巣消防署がまもなく完成し、新年度早々移転する運びになりましたが、施設、機能は一段と充実し、今後の火災、救急に大きな偉力を発揮することを確信します。また、隊員や団員の恒常的訓練や建築確認事務への便宜も高まります。

本年は、消防署にタンク付きの自動車ポンプ一台を配置するほか、団に可搬式二台を購入し、初期消火に万全を期したい。消火栓および貯水池を各四カ所設置し、団員の訓練を高め有事に備えたい。

県は、短命県返上対策として、本年度の保健重要施策に脳卒中対策を決定しました。当町もこれに沿って事業をすすめるとともに、**成人病全般の検診**に重点をおき、町民の健康維持向上に努める方針であります。

清掃関係では、焼却場の煙突工事を行うほか、ごみ収集車の更新、新規埋立地の整備と埋立地までの道路改修を行

います。

また、米代衛生センターの施設については、食生活の変化と施設の老朽化などから、前処理装置の取付けと局部改修、それに汚泥処理場と付帯土工等でおよそ一億五千三百万円ほどを要するが、年末までには完成させたい。

墓地公園については、昨年の工事に次いで、今年は一応仕上げ工事を行うことになりました。したがって年内前半に応募を始めるほか、旭町の墓地移転等、具体的作業をすすめます。

米の需給緩和と食管制堅持のため米の生産調整は本町水面積の七割強、二百七十七haにおよび、既に集落を単位としてその配分を終わりましたが、この際行政も、農業団体も、農家も一体となって取り組み、転作田についても米代相当の所得を確保したい。

それには、集团的作付け（転作）が必要であります。そこで容易に畑作化ができる土壌改良が急務であり、また、作業形態を含めた肥培管理の指導普及が、防除、収穫調整等の機械装備と併せて必要不可欠でありますので、これについては町費をもって助成したいと考えております。

併し、総てを短絡的に解決することはさけ、本年作の作況を検討しながら長期的展望に立った上で行っていきたい。

また、畜産については、漸次飼育農家は定着化しておりますが、円高、輸入量の増大からして、その価格は不安定の繰返しが予想され、また飼料の価格安定、疾病の予防から、本年度もこの種の助成を続けたい。

また、ここ数年でおおよそ施設を完備した排泄物の貯留槽および堆積盤は、地力の増強に偉力を発揮すると思えますので、水田総合利用対策の一貫として積極的にこの活用を奨めたい。

林業については、本年度町有林四ha、財産区有地七十六ha合わせて八十haの造林と下刈り等保育管理二百八十haを町が行います。

また、林構事業として上舟木林道二千四百七十m、基幹作業道横道沢線七百九十三m、県単林道中小又線四百五十mを着工するほか、林構林道の既設分については積極的補修等の維持管理を行います。

次に、広域基幹林道大摩当線（四渡・田代町外川原）一万六千二百mは、昨年度測量設計等が完了し、本年度より

工事に入ります。

農道関係については、陣場岱農免は小森・摩当間六千九十五mの内第一・二期は完了し、残り第三期分（摩当地内）八百五十二mは、本年度採択着工の見通しであります。

また、摩当・向黒沢間農道整備は三千八百八十五mの内、既に六百mは完了し、本年は残の内一千六百九十m着工の予定になっております。

大野台開拓農業補修事業は、中屋敷より大野台に通じる二千七百mの内、残り一千六百mを本年度着工し、完成の見通しであります。

商工業者の資金需要に対処するため、町費預託によりこれを満たし、併せて利子の軽減を図るため債務保証料の負担を行います。

また、駐車場確保のため町有地の有効利用をはかるとともに、税の軽減をもって駐車場整備を促したい。また、町有施設をもつて商工団体へと利用充足を図っていききたい。

次に、地場産業育成のため町工事および物品等の購入については、極力町内業者をもつてこれにあてたい。

また、中央公園の整備については、昨年度の継続事業として「いこいの森」造成事業を行います。構想としては秋の紅葉と野鳥の楽園を考え、広葉樹を主体に三百本の植栽をなし、遊園地広場の拡張と歩道道の整備を行います。

次に、湯の岱温泉については、湯治場として四十〜五十坪の建物を作り、加熱しながら一般の利用を奨励し、老人等の保養や健康に資したい。また、付近用地を買収し将来に備えるとともに、温水を利用して施設園芸や養殖等、多面的利用を助長させたいと考えております。

七日市・妹尾館間に

三カ年でバイパス

道路の改良舗装は近年急速に進んでいます。本町の道路二百八十八路線、延長二百七十六kmを五十二年度末でみると、改良率で六十八%の百七十七km、舗装率で二十九%の八十一kmに過ぎない。

一方、産業経済の発展と生活の向上は、日常化された車社会となり、側溝の改良と相まって依然として改良、舗装の需要は大きい。これに比べ、本年度は道路の改良十五路線（五路）、舗装二十路線（十七路）を早期着工により行います。なお、財源の関係で当初予算には必要額の七十%相当額を計上しております。

また、今年初めて、県の代行事業（山振代行）として、七日市より妹尾館間の町道バイパス（旧軌道線に沿った路線）巾員七m、延長一千六百六十mが三カ年事業として計画されました。

橋梁については、家下ほか一橋の永久化を行います。

都市下水路事業は、昨年度より二路線になりましたが、この内、太田下水路については四十九年度より開始され、既に九百七十三mが施工済みとなり、残り四百五十三mについては本年度をもって完了したい。また、中宿都市下水路は昨年度より着工され、本年度は継続として百十mを予定しております。なお、本水路は総延長二千二百八十八mとなりますので、今後数年を要するものと考えられます。

次に、昨年度より着工した都市公園整備事業は、主として中央公園の整備であります。本年度は球場の隣接にテニスコート等を設置したい。

また、公営住宅建設事業は第三次五カ年計画の第三年目に入り、本年度二十八戸（前年十六戸）の建設を南鷹巣団地内に行います。

がけ地近接住宅移転事業は、四十七年度より五十二年度まで十四戸の移転を完了し、災害の未然防止に努めました。本年度も二戸の移転を行います。

一方、国、県等の関係については、国道一〇五号線鷹巣バイパス工事の用買（向年度三千万円）に入っていますが、遅々としているので、その促進を願うも、本年度は七千万円程度の予算化が図られるので、地元としても積極的な協力を考えたい。

また、県道鷹巣大館線、矢坂〜糠沢線、岩脇〜湯の下の線等は、町道の整備より立遅れていますので、強力に運動し、その改良舗装を促進させたい。

次に、米代川の改修は、鷹巣橋から知子内の右岸の堤防の拡幅、嵩上げが計画され、本年その用買が計画されていますが、その完了を促進するとともに下流の未改修局部の

築促進も働きかけてまいりたい。

また、本年度より二・三年計画で旧町を中心とした都市計画用途地域の住居表示を行います。対象面積は三百六十二ha、三千七百世帯を予定しています。

上水道事業は、昭和四十六年に着工、四十八年四月より給水を開始し、今日に至っておりますが、オイルショック以来物価の高騰、人件費の上昇等、大きな赤字を余儀なくされていましたが、五十一年十月よりの料金の改訂、五十一、五十二年と大幅な一般会計からの繰り入れ、資金の融通をした結果、赤字も減少しました。

したがって長期的計画にあった五十三年四月からの料金値上げは行わず、本年も一般会計からの繰入れと加入者の増加を積極的にを行い、本年度には一千万円台の赤字に圧縮したい。

また維持管理にも万全を期し、計画的に計量器の取替えを行う考えであります。

次に**綴子簡易水道**は、施設設置以来、二十年を経過し需要も伸びていますが、施設老朽化が目立つ、時として断水に追い込まれています。昨年度末、除々ながらその改善を行っていますが、本年も計画的に改善を行う考えです。

また**坊沢簡易水道**は、補助事業として今年度より着工し、できれば年度内に完成させたい。坊沢簡水規模は、給水人口一千五百人、給水量は一日最大三百二十六立方メートル、平均で二百三十八立方メートル、一人一日最大給水量は二百十七リットル、平均で百五十八リットルを見込んでおります。

激動する社会経済のなかで、**教育**の使命はますます高まりつつあり、教育の振興は人づくり、町づくりの根源であると思います。

このような見地から、新年度におきましては教育委員会の適切な運営に期待しつつ、密接な連携のもとに幼児教育、学校教育、社会教育の一体的振興に努める考えであります。

幼児教育については、幼稚園新設の年でもあり、その運営には特段の研究をはらい、若妻教育と共に内容の充実をはかりたい。

学校教育については、新教育課程への移行の年であり、その精神「ゆとりのある、しかも充実した運営」を根底として、基礎的内容の重視、きびしさに耐える心身の助長、土に親しみ、愛校、愛町意識の強調を重点に推し進めたい。

また本道校舎にあつては、昨年に引き続きアルミサッシの入替と下見板の塗装など、環境の整備に努めます。

社会教育については、豊かな人間性を培う生涯教育、生涯体育に対する町民の期待はますます高まる傾向にあります。

この要請にこたえるために、自己学習と相互教育の意欲を高め、そのための機会と場を提供する社会教育の基盤整備を図ることが重要であります。

このため、社会教育の実践の場である公民館、体育館における講座、学級、教室等、学習活動の強化を図るとともに、有志指導者の発掘と社会教育関係団体の主体事業の奨励につとめてまいります。

また勤労者プールの利用と学校開放に力を注ぎ、スポーツの大衆化を図るとともに、野球場、体育館等の環境整備をすすめてまいります。なお公認総合陸上競技場をつくるため、鷹中グラウンド西側の用地の買収を進めてまいります。

五十二年度は 順調に推移

行政報告

昭和五十三年度より実施される**水田利用再編成対策**（水田転作）については、各農業者の積極的な協力を得て面積の把握に努めるとともに、農協組合長会および水田利用再編成対策協議会、地区別説明会等を開き、次のとおり転作目標面積の配分方針と方法を決定しました。

「水田の面積調査を速かに完了し、その結果に基づき県の割当方針および方法に準じ（ただし、市街化区域内水田面積は該当なく、良質米作付面積並びに汎用農地化指数は、実際上は個々の適用は不可能なので適用しない）各農業者別の目標面積を算出して、その明細書と集落毎の集計を付して仮配分し、農協または集落毎の協議調整を経て正式配分とするものとする。

以上の方針と方法により、昭和四十五年度以降五十二年度までの自己開田に対してはその面積の三十％を、その他の既耕田については六・四％の割合で算出し、二月一日付

で仮配分を行い、三月末を目途に、特に集団化に重点をおいて作業をすすめております。なお、今回農協、集落等の活動推進費補助として百九十六万円を計上した次第であります。

昭和五十三年産米の政府売渡予約限度数量については、既耕田の反収増と四十五年度以降の自己開田（既耕田の反収の約七十％程度）分も認められて、昨年度より二万二千三百一俵増の二十万二千五百六十七俵の割当がありました。なお、五十二年産米の追加割当についてはわずかであるが別途県より発表される予定であります。

本年産米の収納状況は、耕作戸数三十四戸（小森十五戸、脇神九戸、岩脇五戸、大野尻五戸）で、総生産量は三万六千九百九十九石（昨年度三万四千五百三十三石）、売上高は四千二百三十三万円（昨年度は三千六百三十三万円）で、一戸当たりの平均は百二十三万六千円（昨年度は百三十八万八千円）となっております。

二カ年継続事業として工事中の**七日市基幹集落センター**は、六月末完成の予定であるが、二月末の進行率は七十五％程度となっております。

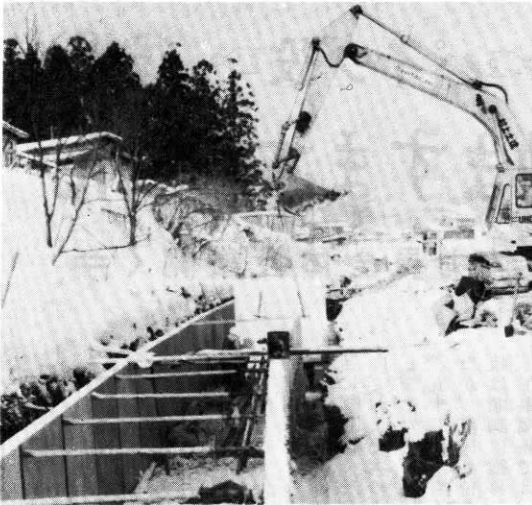
先に査定を受けた本年度の**農業土木災害復旧事業**四十一カ所のうち、農地および施設各十三カ所ずつ発注し、農業に支障のないよう工事をすすめております。

昨年十一月月上旬より十二月下旬にかけて、幼・保育園児、小・中学校児童生徒五千二百九十七人（八十六％）に、**インフルエンザの予防接種**を実施しましたが、きびしい寒波の襲来と新型ウィルス「A型H」の流行により、接種者の十七％が罹患し、東小・鷹小、中央小、綴子小、鷹中の一部が学級閉鎖となりました。

救急医療、休日・夜間医療等の対策が望まれているが、二月十日鷹巣阿仁地域救急医療対策協議会が設立され、国、県の補助事業として、具体化の検討にはいることになりました。

当町の**精神障害者**は現在二百七十一名を数え、そのうちアルコール中毒入院者が激増する傾向にあり、また比較的若年層の患者も多く、今回保健所を単位とする精神衛生協会が設立され、対策を強化することになりました。

墓地公園の第一期工事は七十六％の進行率となっており、一部石垣工事、仕切等は融雪をまって完了の予定で、



▲太田都市下水路工事

引き続き第二期工事を五十三年度に行うよう準備をすすめております。

火災復旧工事中の鷹巣保育園（町費五百万円補助）は、一部外壁の塗装を残し完成したので、園児全員を一月三十日から収容しています。

町費八十万円を補助して新築中の吉ヶ沢、深沢共同の部落会館は、一月二十日落成式を行いました。

老人医療費は、今年度推計総額八千三百三十九万円の見込みで、昨年度と比較して対象人員で五十人、金額にして約一千五百五十万円の増であり、また福祉医療費についても三千八十七万円で三十人、約七百八十万円増となる見込みであります。

長期化する商工業の不況対策として、県では一月四日緊急中小企業対策本部を設置し、金融対策、受発注促進経営対策、雇用対策などを強力におしすすめて倒産防止を図ることになりましたが、町においても積極的な連けいと、中小企業経営安定対策としての雇用安定資金制度、事業転換制度および不況業種離職者制度等の活用について、いつでも相談に応ずる体制をとっております。

今年度の出稼状況は、不況の影響で求人数は減少し、加えて雇用条件がきびしくなったため、就職率は前年度より

十六%も低下しているが、互助会制度はようやく認識され、前年同期に比し九%上昇しています。現在貸金未払いの相談はないが、災害および疾病等による事故が十一件発生し、その手続きは完了しています。

なお、町では昨年まで実施していた現地訪問は、今年度から正月帰省者を対象として去る一月四日公民館ホールにおいて懇親会を開催し、約百二十名が参加し盛會に終了しました。

昭和五十一年十一月一日に管財課が発足して以来、未登記の処理については鋭意その作業を進めておりますが、その実態の把握が極めて困難で思うように成果があがっていない現状であります。本年度分の二月末現在の処理件数は二千六十二件となっており、課の発足以来の累計は四千四百五十三件となっております。

一般建設事業の道路改良は、延長約四千四百を工事費六千九百万円で、摩登り李岱線のほか九路線を発注しました。現在、太田・糠沢線（第二工区）のみが工事中で、他は総て完成しています。

橋梁新設改良工事は、延長二六・四五、工事費約七百三十万円で馬屋沢橋ほか二橋を発注しましたが、それぞれ工期内に完成しています。

なお、このほかに建設省道路局所管の補助事業で脇神橋の拡幅工事がありますが、これは中小河川改良工事と合併施工中であります。

舗装工事は、延長約九千四百を工事費約一億三千二百万円で、七日市・松沢線ほか十六路線を発注しましたが、すべて完成しています。

都市計画事業としては、下水道、公園の二事業があります。下水道は太田都市下水路を延長五百三十九、工事費四千二百二十四万一千円で、公園整備は中央公園内の排水路を延長二百七、その他防護柵等あわせて一千五百八十八万三千円で発注しましたが、それぞれ工期内完成を目標に工事中であります。

公営住宅建設に伴う特定施設と、地域間連施設整備事業の舗装工事は路盤工まで完成していますので、消雪後直ちに表層工を実施すべく待機中であります。

公共土木施設災害復旧工事は、五十年災害を五千九百十

四万六千円で四カ所を、五十一年災害は一千二百四十八万七千円で二カ所、五十二年災害は二千五百四十六万七千円で十カ所を発注しましたが、現在五カ所が工事中で、このほかは完成しております。

除雪については、延長約百五十メートルを実施していますが、そのうち約百三メートルを十七業者に委託し、残りを町直営で行っています。今冬は予想に反して降雪量が多く、二月二十日までに約一千四百万円の委託料が支払われております。また、今年からミニロータリー除雪車を購入して歩道の除雪を行っています。

十二月定例会後の主たる発注箇所は、太田・糠沢線の道路改良、中央公園整備、および田沢川と赤川・谷川の災害復旧工事などで、この工事費は三千五百五十七万円で、

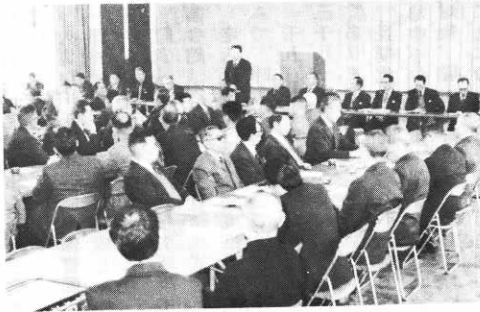
上水道の五十二年度業務量の加入件数は百五十三件で計画どおり達成できる見込みであり経理についても事業収益予算一億三百九十四万五千円、事業費予算七千二百九十五万五千円となり剰余金として三千九十九万五千円が見込まれ繰越欠損金が四千五百五十万五千円に減少の予定であります。

今年度は特に校舎等の雪害防止対策として、建築基準法に定める雪おろし表示を設置し、事前の措置に万全を期したほか、中央小のバス待合所の移転、東小の照明増設工事を実施しました。また、新築中の北幼稚園もほとんど完成いたしました。

二月五日町営薬師山スキー場において約千五百人の参加を得て第十六回町民スキー大会を開催しましたが、年々各地区ごとの大会も盛んになりスキーをたのしむ町民が増えています。

三月一日未明からの暴風雪は国鉄米代川鉄橋附近で瞬間最大風速三十六メートルを記録し、鷹巣小学校新校舎の屋根四百八十三・五平方メートルをはじめ、鷹中、西小旧体育館、スキー場ヒュッテ、ポンプ置場等延六百六十二・五平方メートル被害見込額七百万円のほか、町内では住宅六件二百三十三平方メートル、農協倉庫および畜舎等非住宅十四件四百五十二平方メートル等の被害を受け町全体では約千二百万程度の被害額と推計しています。学校関係の被害については関係機関に報告するとともに速急に復旧の作業をすすめております。

○以上が、三月定例会において出川町長が発表した新年度の施政方針と行政報告です。



住民 ⇐パイプ役⇒ 役場

活動ますます活発化

＝町協力員全体会議開く＝

町の協力員全体会議が、三月一日午後一時三十分から鷹巣町公民館ホールで開かれましたが、日頃あらゆる分野で町と住民のパイプ役として活動されているだけに、それぞれ地域の問題点や要望などおよそ二時間にわたって熱心に話し合いが行われました。

永年勤続者に感謝状

最初に、出川町長が日頃のご苦労に対し深く感謝を述べるとともに、およそ次のように町政報告をしました。

五十二年度もあと一カ月となったが、町民各位のご協力により町政は順調に推移しております。工事関係では、バス路線が全面舗装をみたほか、五十年災害も約五億二千九百万円で完了した。新年度は、部落内の未舗装部分と改良拡幅に努力したい。墓地公園は八月末頃完成予定だが、永代使用の取りまとめは五月



協力員全体会議と感謝状受賞者

頃を予定している。あわせて東旭町の墓地を盆地公園に移転したい。都市計画区域内の住居表示を二、三年計画で踏みきりたい。

また、各財産区とも、ほとんどめばしい財産がなくなっているのので、新年度には軌道修正の方向ですすめてみたい。

以上のほかに、米の生産調整、一〇五号線バイパス、米代川堤防のかさ上げ、商工業の振興、環境の整備など町政全般について述べました。

このあと各課長から、課税台帳の縦覧、各種検診の皆受診、公害の情報提供、交通災害共済の加入促進などの事務連絡が行われ、続いて、各協力員から未舗装部分の舗装促進、住居表示の時期、掃除検査、救急車の出動などについて質疑が行われました。

なお、会議に先立ち、協力員として永年勤続（七年以上）した次の六人の方に感謝状と記念品を贈り、その労をねぎらいました。

千葉正重（横瀬）能登谷実（坊沢上町）三沢孝盛（松原）長連次郎（あけぼの町）朝日了回（南鷹巣）戸島正勝（桜木町）



税の窓

税に不服のあるときは

税務署からの更正、決定の通知や、差押えなど税務署の処分について不服があるときは、税務署長に対して「異議申立て」をすることが出来ます。異議申立てが出され、税務署ではその内容を調査、審理して「決定」しますが、その決定になお不服があるときは、更に、国税不服審判所長に対して「審査請求」をして救済を求めることができます。

「異議申立て」や「審査請求」は、必ず書面で行うことになっていますが、手続きなどで分からないときは、最寄りの税務署や国税不服審判所へお尋ねください。国税不服審判所は、国税について納税者の権利救済のために設けられた機関です。課税や徴収に当たる税務署から独立した公平な立場で、審理、裁決を行っております。

所在地等は、次のとおりです。
▽仙台国税不服審判所 仙台市本町三丁目二二三、電話〇二二二〇七五六一。
▽同青森支所 青森市本町一丁目六一五、電話〇一七七〇四二四一。

町長日誌

2月16日～2月28日

- 16日 鷹巣機械工業会定時総会
- 17・18日 新年度予算査定
- 20日 町議会臨時会
- 21日 町議会臨時会
- 22日 秋田県町村土地開発公社設立団体長会議 秋田市
- 23日 米代川水系水質汚濁対策連絡協議会委員会
- 24日 東北地建河川部長への陳情 能代市
- 25日 鷹巣地区交通安全協会通常総会
- 26日 鷹巣阿仁地区養豚自衛防疫推進協議会理事会 秋田市
- 27日 大館北秋田生活工夫展 鷹巣町観光協会総会
- 28日 自衛隊入隊者壮行会 森吉町外四カ町村病院組合議会定例会

議会日誌

2月16日～2月28日

- 16日 教育民生委員会幼稚園視察（大館市）
- 20日 町議会臨時会
- 23・24日 町議会臨時会
- 27日 町議会臨時会
- 28日 町議会臨時会



国民年金

国民年金の保険料

いますぐ

納めましょう

一月、二月、三月分の国民年金保険料の納め忘れがないかどうかもう一度、年金納付書をお調べください。

万一、納め忘れた人は期限までに納めないと、将来、年金が受けられなくなる場合がありますから、忘れずに納めましょう。

また、当町ではいまだで年金の還元融資を受けて体育館、公民館、青葉荘、焼却場など、公共施設の建設を行っています。

還元融資は、その町の保険料納付状況が九十五％に達して始めて対象となる訳ですが、当町の一月



末の納付状況はまだ九十五％に達していません。

みなさんの保険料が町の施設建設に役立っていることになります。あなたの将来のしあわせと、豊かな町づくりのため、未納の方はいまずぐ保険料を納付しましょう。

建築に
日影規制

4月1日から適用

日影規制とは

住居系の用途地域で、中高層建築物が建つことによって生ずる日影を、一定の基準のもとに規制し、日照の保護を図り、あわせて良好な居住環境を保つと同時に、健全な市街地を形成するために必要な最低の基準をきめたものです。

規制の対象となる地域

▽第一種住居専用地域 鷹巣、鷹巣高校付近、あけぼの町の一部、伊勢町、新田中。

▽住居地域 中岱、舟見町、仲町、三吉町、太平町、大町一丁目付近、西横町、東横町、愛宕下、花園町、西旭町、東旭町、新旭町、旭町、柳中、田中、掛泥の一部。

▽準工業地域 駅裏一帯、鷹巣宮林署貯木場付近。

規制の対象となる建築物

▽第一種住居専用地域に、軒高が七メートルをこえる建築物または三階以上の建築物を四月一日以降に建てる建築物。

▽住居地域または準工業地域に、高さが十メートルをこえる建築物を四月一日以降に建てる建築物。

規制される日影時間の限度

規制を受ける建築物、測定面、日影時間の限度は、次の表のとおりです。

このように規制されたことから、四月一日以降、対象地域に新築、増築、改築などするときは、敷地内での建築物の配置、高さなどを計画、設計時には充分検討が必要です。くわしく知りたい方は、北秋田土木事務所、または役場建設課計画係へお問い合わせください。

日影規制を受ける地域と建築物および日影時間の限度

規制を受ける地域	規制を受ける建築物	測定面の高さ	敷地境界線からの水平距離が5m～10m以内の範囲における日影時間の限度	敷地境界線からの水平距離が10mをこえる範囲における日影時間の限度
第1種住居専用地域	軒の高さが7mをこえる建築物または3階以上の建築物	地面から1.5mの高さ	4時間	2.5時間
住居地域または準工業地域	高さが10mをこえる建築物	地面から4mの高さ	5時間	3時間



無火災を祈願

萬黒部落で、かまくら祭り

七日市葛黒部落で、宝暦年間（今から二百二十年ほど前）から伝えられていたという「かまくら祭り」が、旧正月の前夜（二月二十日）部落民総出で行われました。

無病息災、無火災、五穀豊稔を祈願し、火の神（不動尊）を祭るこの行事は、山から切り出した十メートルある栗の木に稲わらや豆からをしばりつけて点火。燃えあがる火の神に祈願、新年の厄払いをするそばくな行事です。



「春一番」には早い 突風荒れ狂う

＝およそ1千2百万円の被害＝

三月一日未明から吹き荒れた台風並みの風雪は、終日吹き荒れ、当町では学校や倉庫の屋根のトタンが吹き飛んだり、ガラス窓が壊れるなどの被害が続出しました。この「春一番」にはまだ早い突風は、異常に発達した低気圧の影響によるもので、終日横なぐりの雪と強い台風時のような風が吹き荒れました。この風の影響で、鷹巣小学校新

校舎の屋根のトタン四百八十三・五平方メートルをはじめ、鷹中、西小田体育館、町営スキー場ヒュッテ、ポンプ置場等六百六十二・五平方メートルのトタンが吹き飛んだほか、ガラス窓が壊れるなどの被害が目立ちました。このほか、町内では住宅六件二百三十二平方メートル、沢口農協倉庫や畜舎等非住宅十四件、四百五十二平方メートル等の被害を受けています。被害額は、町有関係が七百万円、町有以外で五百万円、合計一千二百万円の被害額が見込まれます。また、この雪まじりの風は列車ダイヤにも大きく影響、急行「よねしろ」が鷹巣駅でストップしたほか阿仁合線でも一部不通となるなど、当地方に、大きな被害をもたらした「春一番」にはまだ早い台風並みの突風であった。なお町では、学校など被害を受けた箇所を速急にすすめるよう作業をすすめています。



ミスユニバース東北代表に

宮野睦子さん(栄町)

78年ミス・ユニバース日本代表選出大会の東北代表を決める第二次選考会が先ごろ、仙台市で開かれましたが、栄町宮野睦子さん(21)は、見事、三人の東北代表の一人に選ばれました。睦子さんは、鷹中から能代北高、酒田短大に進み、卒業後は父の経営するタクシーの無線配車係を受け持ち、昨年の八月には二種免許を取り、たまには自らハンドルを握るときもあるという。身長164センチ、体重55キログラム、均整のとれたお嬢さん。東北代表は睦子さんが本県では初めて。

町長への手紙から

018-33

「町長への手紙」から、一部を掲載します。

一月十五日付け広報に刷り込み(緑色)の手紙は、四月十五日差し出しまで切手は不要です。

あなたもお寄せください。

【福住町に新設の陸橋に、照明設備をしてほしい。】

(福住町・佐藤)

【県の管轄となっているため、北秋田土木事務所に問い合わせたところ、目下見積り中との事でしたが、二月下旬に工事完了。夜間、照明がなされています。】

【子ども服や運動用品など、不用になつて困っている方や高くて買えない家庭も多いことと思います。広報に「交換コーナー」を設けてほしい。また、不用品の交換即売会のようなものも開いていただきたい。】

(掛泥・村上)

【さっそく広報に「交換コーナー」を設けたいと思います。】

広報には、次のように掲載したいと思いますので、手紙に譲りたいもの、譲ってほしいものを記入。それに住所、氏名、電話番号を書いて役場総務課広報係にお寄せください。電話(二一—二一番・内線二四四)でも結構です。なお、「交換即売会」については、町が主催して行うことは考えていません。ただ、新生活運動をすすめている団体等が行うのが最もよいと思うので、呼びかけてみます。

※広報の交換コーナーは、次のようなものになりたい……

【ゆずり】▽スキー一八〇センチ(金具付) 鈴木 〇六〇一四二

▽オルガン 河田 〇三三四三二

▽テレビカラー14型 〇一〇

▽テレビカラー14型 〇一〇

【ゆずり】▽箱型母乳車 松本 〇七一二三〇

▽八十八歳用男児衣類 佐藤 〇三三四三二

▽小学校高学年の女兒 スキー・スキー靴……

「町長への手紙」には、▽障害児福祉 ▽除雪 ▽一〇五号線パイプスの推進 ▽職員の研

さん ▽綴子簡易水道 ▽鷹巣農林高校定時制課程への入学の推進 ▽排水側溝へ水を流し排

雪溝になど、その他たくさんの手紙が寄せられています。

いただいた手紙は、それぞれ検討の上、回答の必要なものについては、個人あてに回答しております。

つながりを求めて 読書のすすめ

『公民館活動集録から』

公民館で今、編集をすすめている活動集録「つながりを求めて」は、つぎの項目で親と子の声を集めている。(1)読書のすすめ(2)あそびの中から(3)自然から学ぶ・はたらくことを教える(4)家の中で(5)子どもの成長と共に(6)家庭教育の親の集い
今回は、読書のすすめの部からその一部を紹介する。

私の読書遍歴

東旭町 石田 洋子



幼少の時の絵本に始まる私の読書遍歴は、物資不足

の小学校時代のまわし読みの少女小説や伝記につながる思い出一冊の本がクラス中に読まれることもあった。やや落着いた中学時代は、図書室に入り浸りて乱読の時代。藤村、漱石、有三、直哉等を借り出しては読み耽った。桃の花盛りの校舎裏、夢中で「破戒」を読んだ日の事が今も忘れられない。

＝伸びる芽によい友よい家よい社会＝

春の青少年健全育成運動

すこやかに伸ばそう

若さを明るさを

入学、進学、進級、就職など青少年にとって最も大事な時期に、青少年がしっかり足もとを見つめながら、希望に向って歩を進め、また一方、解放感のあまり、非行や事故をおこさないように、家庭、学校、地域社会および関係機関、団体が一体となって健全育成運動をすすめよう。

◆主 唱

秋田県 鷹巣町 鷹巣町青少年問題協議会

◆期 間

昭和53年3月11日～昭和53年4月10日

◆重 点

- (1) 自主自立の精神を培おう
- (2) 健全な生活環境をつくろう
- (3) 非行や交通事故の防止につとめよう

◆実施のしかた

次の例を参考に地域の実情に応じて計画をたてましょう。

家庭で	・子どもの将来について親子で話し合しましょう。 ・青少年に悪影響を与えるようなものを家庭に持ちこまないようにしましょう。 ・家族で交通安全について話し合いをし、外出時にはお互いに注意の一声をかけましょう。
地域で	・中・高校生を対象としたつどいをもちましょ。う。 ・青少年が、率先して生活ゾーン、スクールゾーンの点検整備、雪どけ道の清掃などを行いましょ。う。 ・新入 学児童、園児を地域のみんなで交通事故から守りましょ。う。
職場団体で	・新しくはいってきた人達をあたたく迎え、環境に早く慣れさせるとともに社会人としてのルールを身につけさせましょ。う。 ・グループ・サークル活動の参加を積極的に呼びかけましょ。う。 ・職場から交通違反者を出さないよう注意し合いましょ。う。
町で	・喫茶・遊技場等への巡回を計画的に行いましょ。う。 ・有害な看板、ポスターの除去等、青少年をとりまく環境の浄化につとめましょ。う。 ・各種行事や集会などで交通安全について呼びかけましょ。う。

汽車通学の車中では、達三、長塚節、ジイドやトルストイがいつも靴の中にあった。長じて僅かなサラーリから求めた申田係一随想集や魯迅選集は私の宝物の一つになった。「嵐ヶ丘」「人間の条件」を読んで感動したのもこの頃だろうか。

やがて子育ての時期、松田道夫「巨視的しつけ法」、早川元「お母さん読本」は折りにふれ読み返した。そしていつとはなく忙しさに紛れて読む事から遠ざかっていった日々、さすがにさとと懐かしさと経験豊かな文章で私を虜にしたのが細田みねさんの「幾歳月」そして渡辺喜恵子のハワイ移民を題材とした三部作。二時、三時まで読み耽ったのがつい数日前のよう。童話を読んでやりながら「友情」や「車輪の下」を読み返し、「チボー」家の人々、「大地」、「新平家物語」にも挑戦、「おばあさんの知恵袋」で一服し、「敦煌の旅」で中国へ飛ぶ。



夜 の 道

桜木町 戸嶋 聖子

読書の面白さは果てしないものだと思う。読書遍歴などと立派な題をいいただき面くらったけれども成長していく子供たちにおいてけぼりをくわえないよう読書ぐらいはしてとフアイトをもやしている。

風呂屋に行きたいという子供
天気もいいし、少し遅いが
親子三人で でかけた

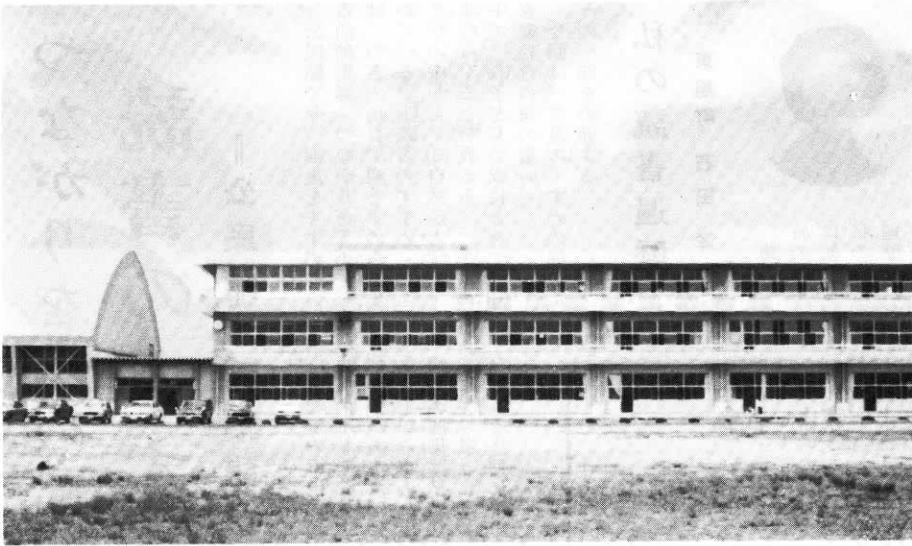
規正は 星がいっぱいの空を見
て
星の話をしようという
あの星の光は、何光年かかるか
という
地球よりも 大きいのかとい
う
一番大きいのは 一等星だとい
う
美華子は 雪を見て
サワサワの塩雪だとい
う
キラキラ光る雪は 結晶だとい
う
外灯の下では朝のようだという
星がうつってきたのだという
黒く汚れた雪も光っている
神様の証だとい
う
星は死んだ人の魂なのだと
子供たちはいう

学校訪問



中央小学校

児童数 三百九人



よく見て 考え やりぬく子

創造性の教育をめざして

学校長 仲谷 安夫



学級数一二、児童数三〇九、教職員数一八の中規模校である。この学校に赴任して間もない日、父母の一人から「私たちにとっては田畑や山林が財産でなく、子どもが唯一の財産だ」とつぶやかれた私はとっさに「これだな」と思った。

た。「よく見て考え、やりぬく子」の児童像が生れた所以でもある。これに到達すべく職員の研修活動がはじまった。これが二か年にわたる鷹巣阿仁部教育協議会の研究推進校としての公開となったのである。

新しいものを生み出し、さらに追求しようとする気構えに欠けた本校児童は大きく躍進した。発表に対する抵抗が一掃され、自分の考えを思いっきり表現でき、他との比較において内容がさらに深められるようになった。これが真の

学力である。

百周年の式典をあげてから早や三年目。地域の人々は心の寄りどころを学校に求めている。環境整備は見違えるように変った。「環境は人を変える」というが、たしかにそうである。学校緑化活動はことさら熱心である。花を育て、緑を育てることは心の豊かさや、いたわりの心に通ずる。小さな親切運動の実践発表で入賞したり、全県学校緑化コンクールで県教育長賞を二年連続獲得しているのも児童、教師、父母の連帯感にはかならない。とにかく、かかげた教育目標がひとつひとつ達成されていく中央小は今、脈々と躍動している。「教師の姿勢は子どもの姿勢をつくりあげていく」のだ。

わが校の

自 慢

児童会長 中島 健

ぼくたちの学校の周りは、円型花だんや、だんだん型の花だん、学習園、野草園、わらしこ山などが、春、夏、秋と季節ごとに花を咲かせて、みんなの目を楽しませてくれます。この花だんは、先生たちや、P



TAの力も借りましたが、ぼくたちみんなが力を合わせて作ったものです。ぼくたちは「みんなが仲よくする」ことと、「ねばり強く頑張る」ことに努力しています。

毎日、お昼の給食が終わったあとの清掃は、たて割りと言って、全校児童を三十七班に分けて、一年生から六年生までいっしょにやっています。そのせいかみんなが仲よく協力できるようになりました。六年生の思い出には、森吉登山

があります。森吉山は学校の窓から毎日眺めている山です。ま夏の暑い中を汗にまみれ、苦しみながら励まし合って登りついたときの喜びは忘れられません。なによりもよかったことは、ひとりの落ご者もなく登れたことで、みんなが仲よくねばり強くがんばった姿でした。緑の少年団は植樹祭に参加して、緑化運動をすすめて、スポーツ少年団は放課後いっしょうけんめい頑張っています。きよ年の十月、二百人以上のよその先生がたをむかえて勉強した公開研究会のときは、はずかしがったり、失敗するのではないかと心配しましたが、どの先生からも「堂々と発表してりっぱであった」と、ほめられました。

五年担任

成田俊彦先生



私達の先生は怒るとものすごいこわい先生です。気げんのよい時は、勉強中でも別の話に脱線してしまい、みんなを笑わせます。バレーやスキーなどの課外の時、特にきびしく人が変わったようになります。

うになり、泣いても絶対に許しません。学校ではみんなから「山嵐」と言うあだ名で呼ばれていますが、このあだ名は全校公認で、先生もわざと知らないふりをしています。先生は自分では社会科がとくいだと言っていますが、私は算数が一番おぼえやすいと思います。私達の学級では、算数のときにつづつ先生がわりの人が前に出て授業を進めています。先生は自分が楽をするための方法だと言っていますが、みんなは前よりもはりきっています。シャレもうまくいつもみんなをケムにまいています。

文5年 千葉 明美 絵5年 佐藤 裕美

四年 春日 悟くん

紹介する人 柴崎友子



りんごのような赤いほっぺ、おでこのすぐ左上に短いかみがよじ

れたように立ち上っている。悟くんのまき目はそこにあるのだ。まんまるい顔にソバカス、ゴマアンパンというあだ名もびったりである。スポーツはなんでもでき、どんなことを言われても、ぜったいおこつたりしない。そのかわり勉強はまじめだとほめるほどではないが、発表もするし元気がよいみんなをいつも笑わせたたり楽しませてくれる悟くんは、女の子によくもてる。

クラスの
人気
もの

ぼくの組は、毎日けんかをするのでゆうめいです。でも、いろいろあそびを考え出すので先生にほめられます。それにときどきテレビに出るうた「草原のマルコ」などをおしえてくれるので友だちにじまんでできます。また「くるくる日記」で、まき紙に二年生の思い出を書いています。



2年B組 武田 秀世

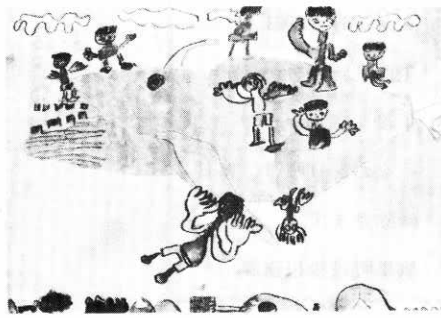
あそびの
うた
の
マルコ

わたしたちのクラスは30人で、根気よくやり通すことをめあてにしています。毎日ヘチマに水をやったり、放課後はマラソンコースを一周して体力づくりもしています。今では、八周も走れるチャンピオンが出て、みんなはその人を目標にがんばっています。



3年B組 本城谷多美

一年 なかじまのぶよし



児童の作品

四年 大高 聖子

粉雪
大高聖子

三年 畠山和佳子

冒
畠山和佳子

六年 亀山和子





スポーツ傷害保険

この保険は、社会教育団体（子ども会、青年団体、婦人団体など）第一種、スポーツ団体（高校の運動クラブ、社会人により構成された競技部など）第二種のうち、団員十名以上の団体の構成員を対象とした傷害保険です。保険料は、年額一人第一種が三百円、第二種は競技内容によって四千八百円、二千八百円、一千二百円に区分されています。保険金額は、三百万円を最高限度として傷害程度に応じて支払われます。

駐車禁止期間の変更について!!

保険期間は、五十三年四月一日から五十四年三月三十一日まで。申し込みは七月三十一日までとなっていますので、加入ご希望の団体は、教育委員会社会教育課へ申し込みください。

おしらせ

▽本年一月から奈良医院前、羽後銀行前交差点の信号機の作動により、消雪と同時に交通渋滞のおそれがあるため。
(鷹巣警察署)

三沢さんが図書館

に「大相撲」を寄贈

桜木町三沢藤江さん(61)は、このほど町の図書館に、学研が一千部限定版で発行した豪華本「大相撲」番付けでみる相撲二百年史を寄贈しました。
「大相撲」には、宝暦七年以降の番付一覧表、綿絵、各時代の力士群像、風俗、力士名鑑など、大相撲二百年の歴史が掲載されており、相撲ファンには貴重な資料となる豪華本です。

固定資産税 台帳の縦らん

昭和53年度分の固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳を次のにより縦らんいたします。

記

と き 3月1日～20日まで
午前8時30分から
午後5時15分まで
なお、日曜日、祭日は除きます。
ところ 鷹巣町役場税務課

水道課だより

水道の香りと純白

水道の水には、一種独特の香りが漂って嫌がる人もいますが、これには、水の中に混っている数多くの菌をなくするため、薬品(塩素)を入れていたためです。水道に関する法律では、末端の水道の水より平常時における遊離残留塩素〇・一PPM以上・結合残留塩素〇・四PPM以上・検出されるとよいことになっております。このため、水道の水が安心して飲用水として使用されるわけです。また塩素の働きによって、洗濯物はいつも白く輝き、肌触りもよいとよくこんでいただいています。

水道使用の心得

①転出するときは、水道使用中止届けをしませんと、あなたの名義は何時までも残り、使用料をいただくこととなりますので、転出する時は必ず前日までに手続をしていただくことになりま。また、転入するときは、前もって使用届を提出されることとなり、若し水漏等があったときは、すぐ使用できませんのでこのときは、水道課へ連絡すること。
②ユニット化された器具類のう



ち「ツリコマ」式でない物の取付による凍結が多く見受けられますので、特殊器具類の購入時においては「ツリコマ」式であるかどうか確認のうえ購入されること。
③使用水量が確認できないときは、認定計算となり、使用されるかたにとっては損得があることもあるかと思えますので、メーターの異常発見には必ず連絡されること。

豆知識シリーズ

①水道用語(PPM)とは!!
百万分の一という単位のことです。鷹巣町の水道水は、浄水場で百万分の〇・三の割合で塩素を注入しています。つまり、〇・三PPMということ。②残留塩素量とは!!
病原生物を殺滅するのに十分な残留量であることです。

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ



主婦のスキー教室に五十人

全員が四・五級に上達

主婦のスキー教室が二月に五日間、町営業師山スキー場で開かれました。

参加したのは三十代、四十代の主婦五十人。最初のうちは「どうもうまくいかないなあ」と言いながらも、さすがは雪国育ち。スキーの基本をマスターした二日目ごろからは、身のこなしも軽くスイスイとすべり、最終日には全員が四、五級の認定を受けるだけに上達していました。



生活工夫展開く

「アイデアいっぱい」

北秋田農協婦人部連絡協議会などが主催する第六回生活工夫展が、二月二十四、二十五の両日、鷹巣公民館ホールで開かれました。

工夫展には、生活改善グループや婦人部員たちが、アイデアを盛り込んだ衣類や加工食品など二百二十七点が出品されましたが、いずれも工夫をこらした作品だけに、参観者は作り方など熱心にメモをしていました。



東保育園にプレゼント

豪華な「ひな人形」

町立東保育園（園児六十人）に、このほど日本ひな人形協会から七段飾りの立派なひな人形が贈られ、園児たちは三月三日のひな祭りを楽しく過しました。

このひな人形は、日本ひな人形協会が抽選で全国の幼稚園や保育園に三十組のひな段飾りをプレゼントするという新聞広告をみて、保護者全員が一枚の応募はがきを出したところ、掛泥の亀山勝雄さんが出したはがきが当選したもので、市価十万円以上もする立派なものです。



子ども会で「たこあげ大会」

鷹巣Aが二連勝

第四回全町子ども会のたこあげ大会が、二月二十六日午後一時から鷹巣体育館前広場に六団体三十三チーム、それに応援の父兄など三百人が参加して行われました。

当日は、風ぐあいもよく絶好のたこあげ日和。参加した各チームはより高く、より長く飛ばそうと一生懸命でした。成績は、各回に上位入賞した鷹巣Aが昨年に続いて優勝、二位鷹巣B、三位沢口でした。

（写真は、優勝した鷹巣Aチーム）

ゴミ収集日程表

(自53年 4月 ～ 至54年 3月)

地 区	町 内 名	部 落 名	焼えるゴミ	焼えないゴミ
鷹 巣	舟見町・東横町・西横町・大町		月曜日	第一、第三
沢 口	学校通り・仲町・旭町・新旭町		木曜日	月 曜 日
鷹 巣	伊勢町・南鷹巣・森館町			
綴 子	舟場			
鷹 巣	米代町・花園町・東旭町・西旭町・西仲通り・栄町・元新町・桜木町・三吉町・太平町		火曜日	(第一、三)
綴 子	あけぼの町		金曜日	火曜日)
鷹 巣	掛泥・高野尻・前野団地			
綴 子	福住町・松葉町・東住吉町・西住吉町・駅前・材木町・東仲通り・北新町・末広町・新松葉町		水曜日・土曜日	(第一、三)
綴 子	田中・新田中・南田中			水曜日)
綴 子	上町・下町・小田・田子ヶ沢		火曜日	(第二火曜日)
綴 子	大堤・昭和・糠沢・大畑			
坊 沢	坊沢		水曜日	(第二水曜日)
七 座	前山・伊勢堂・今泉・黒沢			
栄	太田・摩当・大沢			
坊 沢	緑ヶ丘・蟹沢		木曜日	(第二木曜日)
沢 口	上野・高森岱・小ヶ田・脇神・川口・堂ヶ岱・藤株			
沢 口	小森・中屋敷		金曜日	(第二金曜日)
七日市	根木屋敷・本郷・横瀬・岩脇・品類・妹尾館・中畑・大畑・葛黒			
綴 子	岩谷・二本杉・松原・向黒沢			月 一 回
綴 子	田沢・李岱			不燃物収集
沢 口	湯車			第四木曜日
沢 口	坊山・四ノ渡・湯ノ岱			月 一 回
七日市	与助岱・三ノ渡・黒森			不燃物収集
七日市	松沢・明利又・上舟木・下舟木			第四金曜日
七日市	吉ヶ沢・深沢・吉野			

おしらせ

郵便局からお願い

▽進学、就職、転勤の季節です。転居されるときは必ず郵便局にも転居届けを出してください。届け出用紙は、郵便局と役場の窓口にて備えてありますが、ハガキなどに旧住所、新住所、転居される方の名前、転居年月日を書いてお近くのポストに投函していただいても結構です。

▽現金を郵便で送るときは、額の多少にかかわらず現金封筒をお使いください。

現金封筒以外の封筒を使った郵便物に現金が入っていることがわかると差出人戻しとなり、手数料

三月の健康相談

二十円のほか書留料三百円を徴収されることがあります。

現金封筒は、一枚十円で、現金のほか通信文も同封できます。

成人健康相談は、二十二日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査なども行います。

妊婦健康相談は、二十日です。時間は、午前九時半から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、分娩と産後の注意について。

香典返し

時間は、午前十時から午後零時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽七日市 後藤豊二さんから亡母ヨシさんの香典返し
三〇、〇〇〇円

▽田沢 亀山ユキさんから亡夫茂吉さんの香典返し
一〇、〇〇〇円

▽坊沢大町 佐藤弘行さんから亡

慶弔だより

誕生おめでとうございます

2月16日～2月28日

父千代治さんの香典返し
三〇、〇〇〇円

二人の前途を祝福いたします

出雲 茂 米代町
佐藤 久美子 学校通
小坂 威志 摩当
山崎 洋子 材木町
川村 豊 仲泥町
小笠原 葉子 掛泥通
佐賀 善広 西仲敷
藤木 由美子 中屋敷

おくやみ申しあげます

高橋多治郎(66歳) 綴子上町
大黒 士郎(49歳) あけぼの
河田 スカ(85歳) 三吉町
石田 直治(75歳) 北新町
佐藤千代治(77歳) 坊沢大町
松橋 鶴美(43歳) 新田中
山田 孫作(60歳) 明利又